

【お客様へ】 このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございます。本書は、商品の正しい取付、取扱いについての要領と注意について記載してあります。必ず、取付作業前によくお読みいただき、正しい取付／取扱いを行ってください。
また、本書は商品を使用している間は、大切に保管してください。ご不明な点は販売店または、当社へお問い合わせください。

【販売店様へ】 本書及び、本製品の取付に際して取外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

適応機種	SUZUKI エブリイ ワゴン (DA17W)
------	----------------------------

注意

- 必ず別紙の注意事項をよく読んでから作業を行ってください。
- 本製品を改造しての取付は絶対に行わないでください。
- エンジンを停止してサイドブレーキを確実に引いて平坦な場所で行なって下さい。
- 作業は、2人で行い、手袋等を使用してケガ等に十分注意してください。

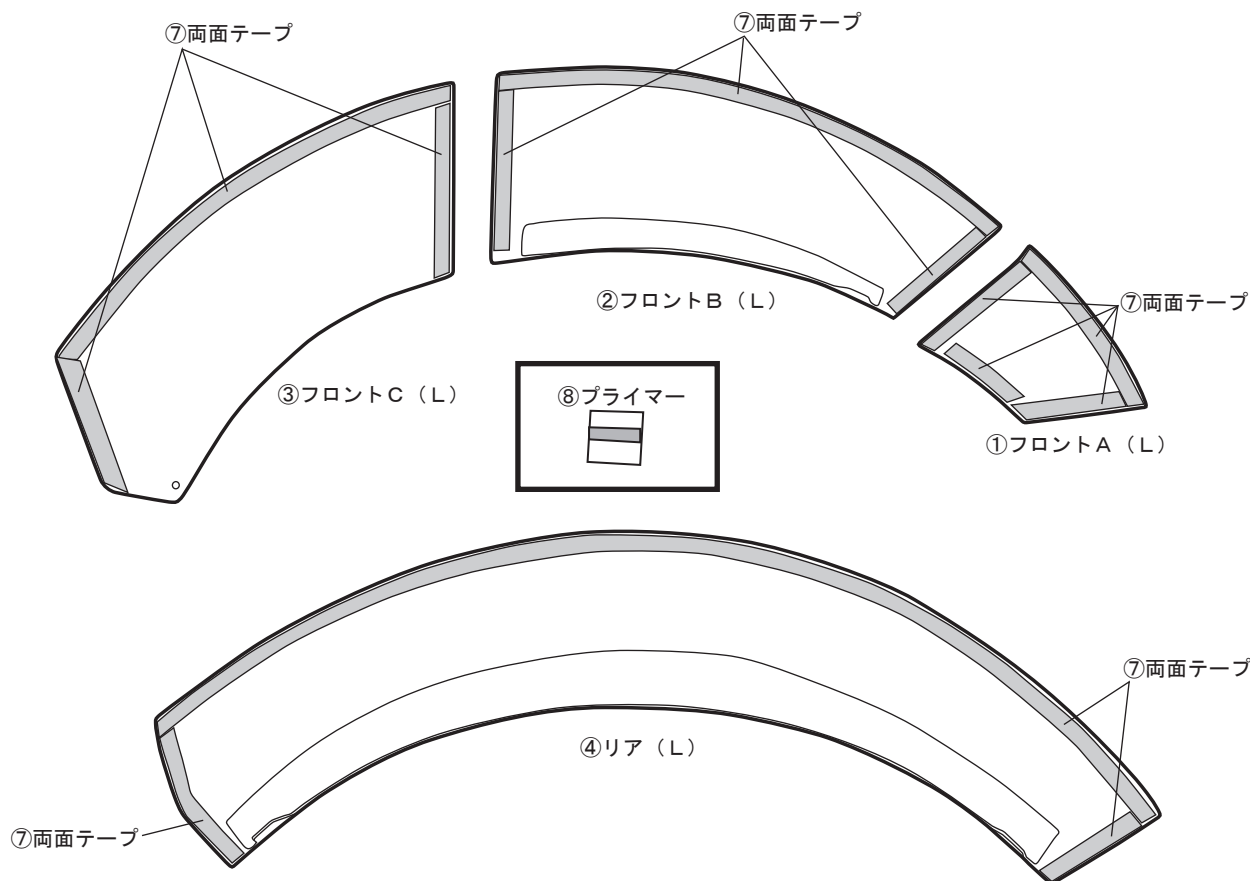
構成部品

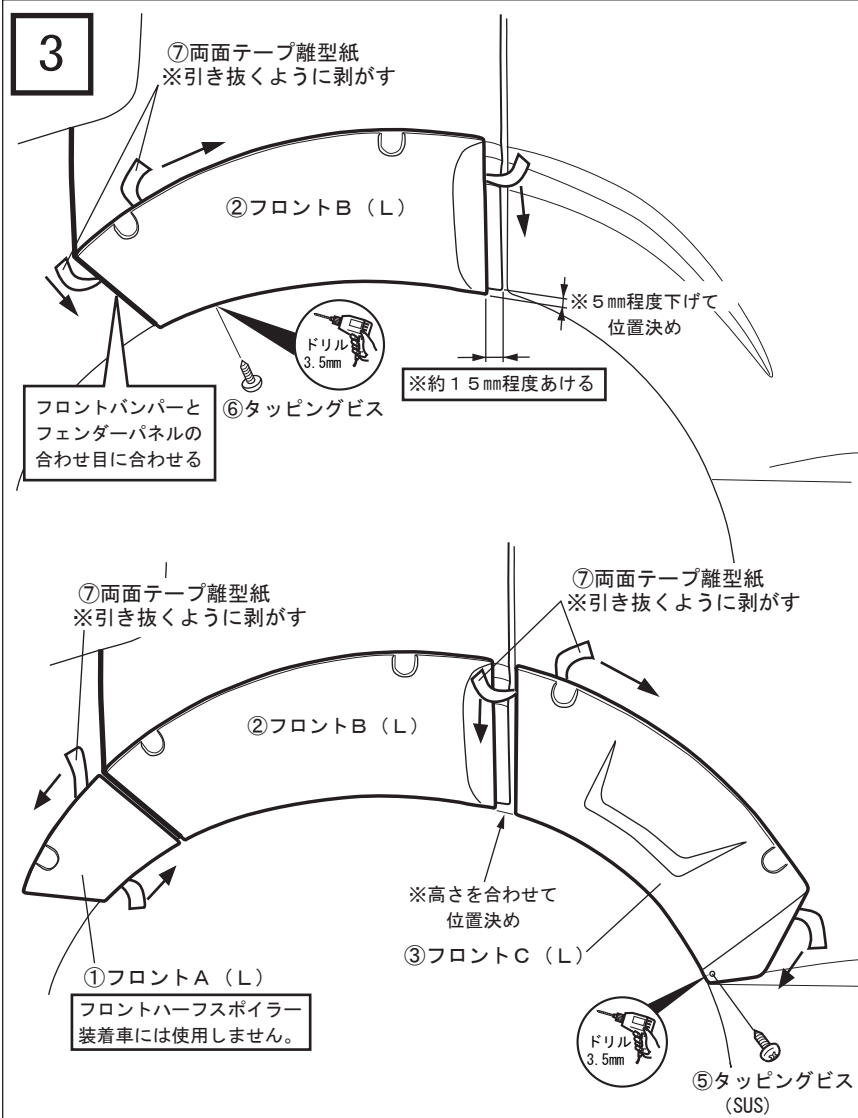
※作業をはじめる前に構成部品がそろっているか確認してください。

No.	品名	数量	No.	品名	数量
①	オーバーフェンダー フロントA L/R	各1	⑤	タッピングビスSUS 4×16	2
②	オーバーフェンダー フロントB L/R	各1	⑥	タッピングビス 4×12	6
③	オーバーフェンダー フロントC L/R	各1	⑦	両面テープ t0.8×2m	4
④	オーバーフェンダー リア L/R	各1	⑧	プライマー	1

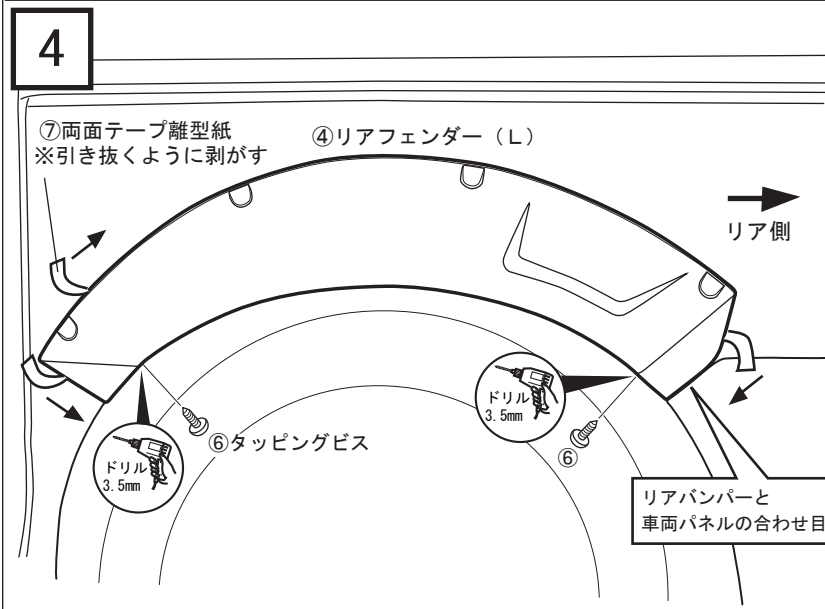
取付方法

- 1**
1. 図を参考にして、①～④各オーバーフェンダー裏面及び車両の両面テープ貼り付け部分を十分に脱脂して各オーバーフェンダー裏面の⑦両面テープ貼付け部に⑧プライマーを塗布して乾燥してください。(約10分程度)
 2. 図を参考にして、①～④各オーバーフェンダー裏面に⑦両面テープを貼ってください。
※はみ出さないように貼ってください。





1. 図を参考にして、②フロントBを車両にセットし、前側をフロントバンパーとフェンダーの合わせ目に合わせる様に、後ろ側を車両フェンダーの下端より5mm程度下がる様に、ドアのオープニングから15mm程度あくように位置決めしてください。
2. ②フロントBを車両から外し、裏面の両面テープの離型紙を少しずつ剥がして折り曲げてください。
3. 位置を確認しながら、1.で位置決めした位置に②フロントBをセットして両面テープの離型紙を引き抜くように剥がして、圧着してください。
4. フェンダー内側の穴位置をドリル (3.5mm) にて穴開けし、⑥タッピングビスにて固定してください。
5. 図を参考にして、③フロントCを車両にセットし、②フロントBと高さが合うように、フロントドアのオープニング前側に合わせて位置決めしてください。
6. ③フロントCを車両から外し、裏面の両面テープの離型紙を少しずつ剥がして折り曲げてください。
7. 位置を確認しながら、1.で位置決めした位置に③フロントCをセットして両面テープの離型紙を引き抜くように剥がして、圧着してください。
8. 後ろ下端の穴位置をドリル (3.5mm) にて穴開けし、⑤タッピングビス (SUS) にて固定してください。
9. 図を参考にして、①フロントAをフロントバンパーにセットし、②フロントBに合わせて位置決めしてください。
10. ①フロントAを車両から外し、裏面の両面テープの離型紙を少しずつ剥がして折り曲げてください。
11. 位置を確認しながら、①フロントAをセットして両面テープの離型紙を引き抜くように剥がして、圧着してください。
※フロントハーフスポイラー装着車に取付ける場合は、①フロントAは使用しません。



1. 図を参考にして、④リアフェンダーを車両にセットし、後ろ側をリアバンパーと車両パネルの合わせ目に合わせる様に位置決めしてください。
2. ④リアフェンダーを車両から外し、裏面の両面テープの離型紙を少しずつ剥がして折り曲げてください。
3. 位置を確認しながら、④リアフェンダーをセットして両面テープの離型紙を引き抜くように剥がして、圧着してください。
4. フェンダー内側の穴位置をドリル (3.5mm) にて穴開けし、⑥タッピングビスにて固定してください。

●各オーバーフェンダーのU字型凹部分を実際にビス止め固定していただいても結構ですが、別売にて貼り付けタイプのダミービスセットをご用意しております。

取り扱い上の注意事項

注意

- 取付終了後は、ネジ類の締め付け及び、全体にガタツキ等が無いかももう一度確認してください。
- 取付終了後24時間は、洗車等で濡らさないようにしてください。
- 自動洗車機のご使用はしないでください。破損の原因となります。
- 日常点検を実施して、ガタツキ等があった場合は、そのまま使用しないでください。